



# 東風

○月○日

『明るく伸びる子』

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子  
○じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和3年1月29日発行 第11号

## ゴールを見据え、力をためる3学期

岩内東小学校長 齊藤 信之

帰省や外出に自粛が呼びかけられる中で、静かに迎えた令和3年の幕開けでした。丑年の「丑」は、「曲がる」「ねじる」との意味があり、芽が出かかっているものの、表面にはまだ出てきていない状態を表すのだそうです。新型コロナウイルスの収束に向けて、今少しの間、辛抱を続ける年ということになるのでしょうか。今できる最善を考え、知恵と力を合わせて前へ進んでいく一年にしたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

いつもより1週間ほど短い冬休みが終わり、3学期がスタートしました。休み中、子どもたちに関わる事故等の報告がなく、そろって3学期のスタートを迎えられたことを何よりもうれしく思います。子どもたちのやる気を感じながら顔を見て直に語りかけたかったところですが、感染予防のため、今学期もまた校内放送での始業式としました。

その中で「3学期は、もうすぐやって来る卒業・修了の日に向け、なりたい自分を思い描きながら準備を進めるとき。短いけれども、とても大切な毎日。」との話をしました。中学校や新しい学年へ高く、大きくジャンプするための力をため込む大切な3学期の始まりです。

スキー学習を楽しみにしていた子は多かったと思います。また、用具を新たに準備していただいたご家庭もあったと思います。大変申し訳なく心苦しい決断でしたが、イワナイリゾートのリフト運休に伴い、スキー場でのスキー学習を中止としました。「学校の新しい生活様式」を続ける中、日頃の我慢を少しでも発散させてあげたいとの気持ちがあっただけに、いっそう残念でした。

昨年11月に日本人宇宙飛行士の野口聡一さんらを乗せて打ち上げられた宇宙船の名は「レジリエンス」といいます。困難な状況から立ち直る、形が変わってしまったものを元通りにするという意味で、世界中がコロナ禍で困難な中、協力して社会を元に戻そう、元の生活を取り戻そうとの切実な願いが込められています。引き続き感染症対策を講じながら子どもたちの学びと成長を保障するために、学校には創意と工夫のもと、しなやかに対応する力が求められています。家庭や地域の皆さんとも連携し、理解と協力を得ながら子どもたちの達成感や充実感につながる毎日を生み出していきたいと思っています。

2度目の参観日を2月下旬に予定しています。24日(水)に1・3・5年生と26日(金)に2・4・6年生と日にちを分け、それぞれ3時間の幅を持たせて授業を公開します。併せて学級懇談も予定しています。お忙しいとは存じますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

「冬来たりなば春遠からじ」

今は不幸な状況にあっても、じっと耐え忍んでいれば、いずれ幸せが巡ってくる。コロナにも冬にも、終わりがあります。みんなで乗り越えていきましょう。